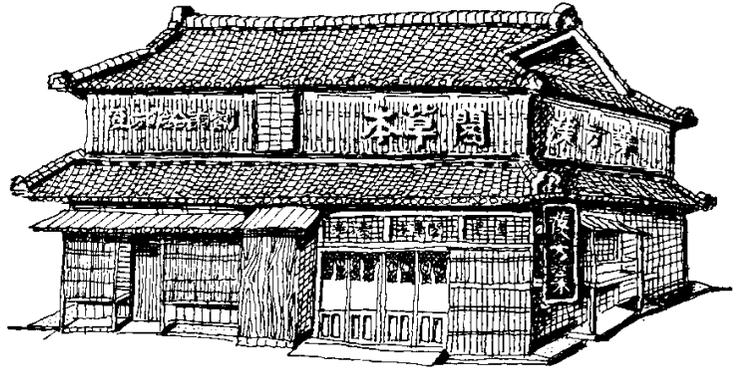


本草閣 かわら版

第69号

平成16年5月15日発行



漢方の本草閣 本店
〒460-0012
名古屋市中区千代田5-21-17
(JR 鶴舞駅西)
JR中央線・地下鉄 鶴舞駅下車
TEL 052-241-3388
FAX 052-241-3443

漢方の本草閣 緑店
〒458-0016
名古屋市緑区上旭1-622
(滝の水公園西)
名鉄バス滝の水口下車 徒歩約5分
TEL 052-899-0221
FAX 052-899-0236

<http://www.honsoukaku.co.jp/>
E-mail: kanpou@honsoukaku.co.jp

<http://www.honsoukaku.co.jp/>
E-mail: midori@honsoukaku.co.jp

病の原因は？

病はどうして起こるのでしょうか？

一言で言えば「血液がスムーズにサラ～と巡らないから」

どうして血液が巡らないのか？

いろいろ考えられますが、現代ではほとんどの病が血液が濃いために巡りにくく、鬱血・充血・炎症・出血・腫瘍・おでき・・・を引き起こします。その場所が肝・心・腎・脳・胃・膀胱・大腸・小腸・皮膚・目・耳・手・足・子宮・卵巣・・・と変わるだけなのです。その場所・程度にて病の種類・症状が変わると考えられるのではないのでしょうか。

耳の隣は目・目の下は鼻・鼻の下は口・口の下は咽喉・目の奥は脳。この一部の血液が滞るとその周りの部位も大なり小なり血液の流れが悪くなります。一部分のみ血液循環を良くするのではなく、その付近全体の血液の巡りを良くするべきです。

「血液の巡りが悪い」以上に詰まってしまうのが脳梗塞・心筋梗塞なのです。

さー血液がサラサラ流れる様にしましょう！

青汁と漢方薬がお役に立ちます。

詳しくは薬剤師に御相談下さい。

〔文責 林 譽史朗〕

民間薬よもやま話

第14回 めぐすりの木：カエデ科

めぐすりの木の名前は、民間薬として樹皮を煎じて、洗眼に用いることから由来しています。また、日本だけにしか自生しておりません。

別名は「千里眼の木」「長者の木」といわれています。

採取時期は、樹液がよく動いている初夏から盛夏にかけて、樹皮を剥ぎ取り陽乾させたものを用います。

薬効は肝機能改善、疲れ目、目やに、充血、ドライアイ、涙目、飛蚊症などです。

飲み方は、1日15～20g程度を400ccの水を200ccまで煎じて服用します。

洗眼で用いる時は、樹皮3～5gを煎じて用います。

花粉症の季節到来！！

花粉症とは、スギ・ヒノキ等の花粉により生体内で主にヒスタミンという物質をたくさん遊離してしまうことによって、鼻水・鼻づまり・くしゃみ・目のかゆみ等を引き起こしてしまうアレルギー反応です。漢方学的には、主として体内の過剰な「湿」と外からの「寒」を感応して起こると考えられます。

西洋薬の治療は、主に抗ヒスタミン薬・抗アレルギー薬・点鼻薬・点眼薬等で、どれも体質を変えるものではなく、ただ不快な症状を抑えることだけなのです。ですから、体質を改善しない限り毎年同じような症状が出てしまいます。

症状を抑える漢方薬もありますが、体質改善は漢方薬の一番得意とする分野です。「気血水」「寒熱」「虚実」「五臓六腑」等、原因となる体質を改善することによってアレルギー体質の脱却をはかっていきます。

例えば、今話題の花粉症体質の人に良いといわれる特定機能乳酸菌は、漢方学的に理にかなっているのです。「大腸」と「鼻」は漢方学的に通じ合っていると考え、「大腸」の環境を改善することは、「鼻」の環境も改善することになりますのです。漢方はそのような考えのもとで体質を変えていくのです。

〔文責 山口 真広〕

「本草閣かわら版」編集部

編集責任者 山口 真広